

身体障害作業療法評価学実習にて関節可動域測定を行いました（2022.5）

2022年6月8日

作業療法で用いる評価の中に、関節が動く範囲を測定する関節可動域測定（Range of Motion）があります。3年生が実習でその測定をしました。

実技ではゴニオメーター（角度計）を使用して、素早く、正確に測定することが求められます。その結果をもとに、日常での困りごと（洗髪が難しいなど）に対して関節可動範囲を広げるプログラムを行ったり、可動範囲が狭くても道具を使うなど代替りの方法を考えたりします。



この角度計は小さいから使いやすいのよ

膝関節の屈曲は…と



ここでも練習中です



もうちょっと動くかな？ はい、65度。